

# Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 11 日(日)

試合時間：12:20～

主審：有澤 優子

副審：副島 亜紀子

福岡教育大学	● 8 4	20	—1st—	22	○ 9 5	鹿屋体育大学
		25	—2nd—	27		
		16	—3rd—	28		
		23	—4th—	18		

## 第 1 ピリオド

福教大 #9 浅田のジャンプシュートで試合がスタート。それに続けて、福教大 #7 藤田の 3P シュートで流れを掴みにかかるが、鹿体大は、#26 後藤、#8 中山の連続得点で即座に応戦する。その後、鹿体大がうまく攻撃を仕掛け、福教大はチームファウルが点灯、鹿体大はフリースローで得点を稼ぐ。終盤、福教大は点数を詰めようと 1対1 をメインに得点を重ねる。そのまま互いに得点を伸ばしていき、20-22、鹿体大 2 点リードで第 1 ピリオドを終える。

## 第 2 ピリオド

序盤から、鹿体大は #3 大串が力強いポストプレーでインサイドを支配する。鹿体大はオフenseリバウンドに積極的に飛び込み、セカンドショットやバスケットカウントなどで得点を奪う。点差を開けられたくない福教大は、#6 鶴川を中心に攻撃を展開、鹿体大のゾーンプレスを少しずつ攻略し得点を重ねる。終了間際、福教大 #12 森川が時間を使い 1対1 を仕掛け、3P シュート決めると同時にブザーが鳴り、第 2 ピリオド終了。45-49、鹿体大 4 点リードで勝負の行方は後半へ持ち越される。

## 第 3 ピリオド

開始早々、鹿体大が序盤から仕掛けていた 1-2-2 ゾーンプレスに福教大がはまり、試合は一気に鹿体大ペースへ。スティールからブレイクで得点を決め、一気に 9 点差とする。福教大は、残り 8:34、タイムアウトを請求し立て直しを図る。タイムアウト明け、福教大は #6 鶴川の華麗なドライブで、対する鹿体大はチームオフenseで、両チーム前半同様激しい攻防を繰り広げる。鹿体大は激しいディフェンスで福教大の攻撃を封じ、積極的にインサイドに攻め込み、点差を 16 点差まで広げ、61-77 で第 3 ピリオド終了。

## 第 4 ピリオド

福教大は #16 塚本のゴール下での連続得点により勢いづく。対する鹿体大はシュートが入らず、波に乗ることができない。残り 5:00、福教大 #9 浅田がファウルアウト。このチャンスをモノしたい鹿体大は、#26 後藤の華麗なドライブイン、#31 西村の力強いインサイドでのプレイで得点を重ねる。試合終盤、福教大は #12 森川の 3P シュートが決まり、点差を 9 点にまで縮めたが、逆転には及ばず。84-95 で鹿体大が勝利を収めた。